

TDC通信

～塚原デンタルクリニック通信～

関係あります！

あまり知られておりませんが、歯科治療を行う上で持病があると行えない治療や、行った場合危険を伴う処置があります。また、持病の状態や服用している薬などによっては処方できない薬があります。



だから



持病のある方の歯科受診には
注意が必要です！

今回は、歯科治療時に特に問題となることの多い代表的な病気について、実際にどのような事が問題となるのか、みていきましょう！

☆☆代表的な病気☆☆

- ①脳梗塞・心筋梗塞
- ②糖尿病
- ③高血圧症
- ④気管支喘息
- ⑤骨粗しょう症

持病あるけど

歯の治療には

関係ない
のかしら？



？



Vol.05

2011年7月

① 脳梗塞・心筋梗塞・・・脳梗塞・心筋梗塞の方は、治療や予防の為に、

血液をサラサラにしておく薬 を服用している場合が多い
↓ ex)ワーファリン・バイアスピリンなど
血液を固まりづらくしてある
↓ インプラント手術や抜歯の際に...
血が止まらなくなってしまう 可能性があります！



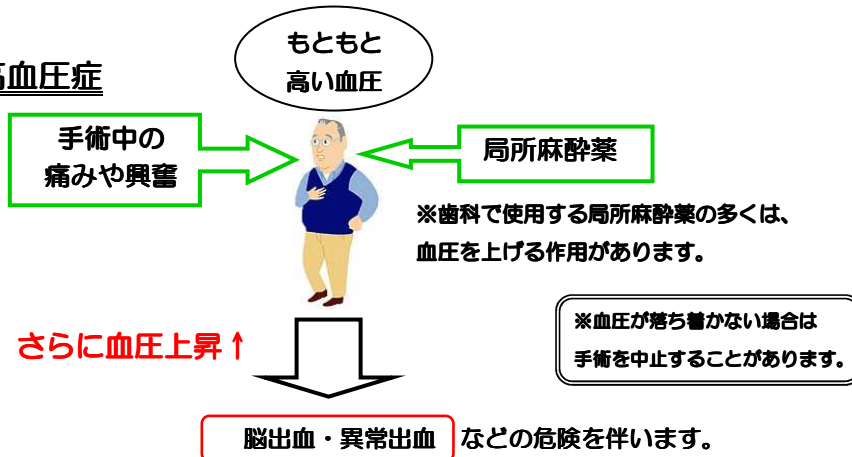
② 糖尿病・・・糖尿病の方の特徴として、

細菌に感染しやすい
傷口が治りづらい
低血糖の状態になりやすい
⇒ 術後感染、治療不全
を生じる可能性があります。



※通常の処置ではあまり問題となりませんが、インプラント手術や抜歯の際には危険を伴います。

③ 高血圧症



④ 気管支喘息



歯科で処方される「炎症止め、痛み止め」の薬剤のほとんどは
喘息の発作を誘発してしまいます。 ex)ロキソニンなど

⑤ 骨粗しょう症・・・骨粗しょう症の第1選択薬とされる

ビスフォスフォネート系製剤
(BP 製剤)

の投与を受けている場合

抜歯やインプラントの手術などの治療後に
顎の骨が死んでしまうことがあります。



以上5つの疾患以外でも、歯科治療時には注意が必要です！

☆日ごろから、持病の状態をよく把握し
「服用している薬剤」や「検査での数値」などを
「お薬手帳」や「検査データ」などの文書で
なるべく詳しく正確に歯科医師に伝える事が大切です！
☆また、持病がある場合でも医科と連携し
お薬をコントロールしたりすることにより
多くの場合、安全に治療することが可能です！

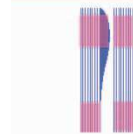
～編集後記～

意外と身体の病気と歯科治療は関係ないと思っていられる方が
おりますが、それは間違いです！歯科で処方するお薬は、抗生物質と消
炎鎮痛剤が主ですが、その種類も様々あります。抗生物質一つとって
みても、アレルギーを起こされる方もいらっしゃいますので、当院では必
ず問診表を記入してもらった際に、お口のことと身体のことを書いてもら
っております。今までどんな病気をしてきたか、現在病気はあるのか、
またアレルギーがあるのか、患者さんのお口と身体を歯科医師・衛生士
が把握することで、歯科治療に伴う危険を「0(ゼロ)」にしていく努力
を日々心がけておりますので、もし病気や服用しているお薬があったら、
気兼ねなくお伝え下さい。

ご質問・ご要望などございましたら、mail@haisha.jp まで、ご連絡
下さい。またインプラントに特化した当院のHP
(www.implantlife.com)内でスタッフブログを始めました！

そちらもお時間ある時に覗いてみて下さい！！

◆◇Information◇◆



www.haisha.jp

塚原デンタルクリニック

TEL : 03-5289-4555

<http://www.haisha.jp>

<http://www.implantlife.com>



受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	※	○	○
15:00~18:30	○	○	○	※	~17:00	~17:30

休診日：日曜・木曜・祝祭日

※第1・3木曜日は矯正日 AM10:30~18:30